

◆ 令和6年度 指定管理者事業評価書

施設名	ロクハ公園等			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	建設部	公園緑地課	初年度	161,528,477円	0円	161,245,418円	令和6年度から8年度までの指定管理期間ではロクハ公園プールや駐車場などが使用料金制に変更された。また、光熱水費と一部の燃料費が精算科目となり未執行となった2,932,532円を草津市へ返納した。	(公財)草津市コミュニティ事業団と草津造園協同組合、(株)サンアメニティ大阪が三者で共同体を構成し、①施設を知り抜くプロの連携による「安全」「安心」「快適」の提供、②みどりのサポートセンター発の地域による地域のための公園づくり、③誰もが健康で幸せに暮らせる健幸都市の拠点として地域コミュニティ活動と協働の公園づくりの3本柱を運営方針とする。
施設HPアドレス	https://www.park-698.net/		2年目	164,461,000円	0円			
指定管理者名	公益財団法人 草津市コミュニティ事業団		3年目	164,461,000円	0円			
指定期間	令和6年4月1日 ～ 令和9年3月31日		4年目					
評価対象期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日		5年目					

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
4	☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
2	☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1		評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成18年4月1日
施設の供用開始日	昭和63年4月1日
指定管理導入前の運営形態	包括的委託

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆
令和6年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)	
(公財)草津市コミュニティ事業団、草津造園協同組合と(株)サンアメニティ大阪は協働してロクハ公園等の施設を「安心、安全、快適」にご利用頂けるように努める。		都市公園等の維持管理や、ロクハ公園プールの運営等について、仕様書・協定書等の基準を遵守し適切に実施できた。市民からの要望等については、執行計画を作成し、地元町内会等と適切な調整を図りながら対応できた。	
公園利用者数 99,300人 プール利用者数 73,500人 事業収益 169,685千円 事業支出 174,315千円 事業実施数 268事業(ドッグラン場開場日数などを含む)		(応募状況等) 施設管理に関して、高い管理技術と専門的知識、経済的運営を行う管理者を求めるため公募による選定とした。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証	
令和6年度のプール入場者は利用期間の7月8月への短縮および25mプール利用中止などを受け計画に対して73%に止まった。		(利用料金制について) 平成27年度から利用料金制度を導入したが、令和6年度からは、設備全体における劣化や損傷があり、今後、屋内外プールの使用ができない期間があり収入が見込めないため、利用料金制を採用しても民間事業者のメリットが少なく、民間事業者の応募動機が高まらないことが予想されることから、当面、使用料制を採用することとしている。	
公園利用者数 154,998人 (156%) プール利用者数 53,513人 (73%) 事業収益 167,139千円 (98%) 事業支出 161,245千円 (93%) 事業実施数 282事業			

◇施設に係る主な指定管理業務
草津市都市公園条例第2条、草津市立ロクハ公園駐車場条例第3条、草津市児童遊園条例第3条に規定される管理業務 (1)ロクハ公園などの利用に関する業務 (2)ロクハ公園などの施設および設備の維持管理に関する業務 (3)前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務

◆評価基準	
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

履行の確認（施設全般の管理運営に関する業務）				
評価項目 1	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	ロクハ公園プールは事前の設備点検とスタッフ教育を予定通り実施し、7月、8月の2ヶ月無事に無事故で運営することができた。また、プール利用のピーク時には入場整理券方式による券購入待ち時の熱中症予防等の対策を施した。	上半期評価	プール期間までに事前の設備点検を行うとともに、スタッフ教育を行うことで万が一の事故に備えることができた。また、プール利用者に対し熱中症予防対策を施し、未然に熱中症を防ぐことができた。
	☆☆☆		☆☆☆	
	下半期評価	市内全公園の遊具と外構設備の年次点検実施を令和5年度の第4四半期から令和6年度の第3四半期までに前倒して、危険度の高い設備等の早急な修繕実施を行い、またその他対策案件を次年度予算へ優先度を勘案しながら計上した。	下半期評価	市内公園の遊具と外構設備の年次点検の報告であがった危険度の高い設備等について、早急に使用禁止措置や修繕対応を行い、事故の発生を未然に防ぐことができた。また、その他対策が必要な案件について、市と協議を行いながら優先度を決めて予算計上を行い、次年度の動きを明確にした。
	☆☆☆		☆☆☆	

履行の確認（保守点検、清掃・維持管理、保安・警備および修繕業務）				
評価項目 2	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	プール開業前事前点検などで発見されたる過ポンプ故障や流水プール底面剥離の修繕を実施し、予定通り7月1日に開場させた。	上半期評価	7月1日からのプール営業開始に間に合うよう、事前点検で発見された修繕の必要な部分について早急に修繕対応を実施することができた。また、都市公園等においても、町内会による除草作業後の刈草処分、突発的なゴミ収集等にも迅速な対応を行い、快適な公園の維持管理を行うことができた。
	☆☆☆	また、込田公園において複合遊具の損傷が頻発したので抑止のため防犯カメラを設置して以降の再発が防止することができた。	☆☆☆	
	下半期評価	令和6年度遊具点検の悔過に基づき、基礎露出など危険度が高い箇所へゴムチップ補修等の対策を実施した。	下半期評価	上半期に込田公園に防犯カメラを設置した後、複合遊具の損傷が発生したが、防犯カメラ記録による分析と損傷部分の修繕を実施し、快適な公園の維持管理を行うことができた。また、老朽化の進んでいる公園のフェンスを早期発見するため、公園の数が多中、年度内にできる限りの調査を行うことができた。
	☆☆☆	また、全公園（320超）に対してフェンス点検を開始した。軽微な異常に対しては、その場で修繕を行いながら年度内で全体の3分の1調査を完了した。	☆☆☆	

サービスの質の評価（指定・自主事業の質）					
評価項目3	指定管理者の自己評価			市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	ロクハ公園の魅力を活用して利用者へ、より満足していただけるイベントを実施するため本年度も外部のイベント企画・運営会社との協業を実施した。この結果、ロクハ春まつり(10,000人)、ロクハGWフェア(26,000人)に多数の参加者を得ることができた。		上半期評価	積極的に外部の企業とイベント企画運営を行い、より多くの市民にロクハ公園の魅力をPRすることができた。また、市民が緑と触れ合う機会を提供することで緑化推進に貢献することができた。
	☆☆☆			☆☆☆	
	下半期評価	プール施設のプール期間外の有効利用と利用者の利便性向上ため令和5年度に引き続きドッグラン場（プールサイド芝生広場）を開催した。また、令和6年度からは屋内プールを利用したボールプール場（幼児プール）を開催した。 ドッグラン場利用者 1,254人 ボールプール利用者 3,562人		下半期評価	オフシーズンのプール施設を有効活用するためドッグラン場を引き続き開催するとともに、冬季の不安定な気候でも利用者が元気に遊べる場を提供するため、新たな自主事業を開催し、さらなるロクハ公園利用者の増加を図った。
	☆☆☆☆			☆☆☆☆	
サービス安定性の評価（事業収益）					
評価項目4	指定管理者の自己評価			市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	令和6年度から3年間の指定管理においてプールや駐車場が使用料金制へ変更された。 入場者増加のためプールサイドショー（2回実施）などのアクションを取ったが、8月後半の台風などの影響で来場者数が伸び悩み、7月8月の合計入場者数は対前年▲2,083人の53,513名となった。		上半期評価	台風の影響により結果的に前年より総来場者数が減少してしまったが、プールサイドでのイベントや広報活動に取り組み、利用者数の増加に務めた。また、昨年プール期間中に交通渋滞が発生したことを踏まえ、適切な交通整理を行い、交通渋滞を最小限に抑えることができた。
	☆☆☆			☆☆☆	
	下半期評価	公園利用者の熱中症予防や利便性向上と寄付金収入の増加のため、令和7年度営業開始を目的に市内児童公園等でのアイスクリームおよび飲料自動販売機の設置について地元町内会と草津市了承を得て指名型プロポーザル募集（入札）を実施した。飲料については、募集した3公園とも不調に終わったが、アイスクリーム自動販売機をロクハ公園スポーツ広場で令和7年度から販売開始することができた。		下半期評価	市内公園の利用者の多い公園に対して自動販売機設置に向けた取り組みを行い、設置の実現は叶わなかったものの、利用者のさらなる利便性向上や収益増加に務めた。
	☆☆☆			☆☆☆	